

2007年11月19日

(財)病態代謝研究会

(Astellas Foundation for Research on Metabolic Disorders)

平成19年度 研究助成金の交付者決定のお知らせ

財団法人 病態代謝研究会（理事長：児玉 龍彦）は、先般開催しました理事会において、平成19年度の研究助成金の交付者73名を決定しましたのでお知らせします。

財団法人 病態代謝研究会は、アステラス製薬株式会社（社長：野木森 雅郁、以下「アステラス製薬」）が出捐会社である国内の科学財団です。本研究会は、1969年に「国民の保健と医療の発展および治療薬剤の進歩に貢献すること」を目的として旧山之内製薬（株）の寄付によって設立された科学財団です。また、旧藤沢薬品工業（株）社長であった藤澤友吉が私財を投じて1946年に設立した「（財）医薬資源研究振興会」の3月末日解散にあたり、各主務官庁の認可を得て4月1日よりその事業「医薬資源の発見、開発に関する基礎および応用研究」を本研究会が継承しました。事業は、アステラス製薬の寄付によって毎年その趣旨にもとづき、医学・薬学等の研究者を対象に研究助成金・海外留学補助金の交付を行なっています。

平成19年度は、メインテーマ1「疾患および治療に関する遺伝子と生体システム」とメインテーマ2「医薬資源の発見、開発に関する基礎および応用研究、または未利用資源の調査並びに利用化に関する研究」として募集しました。459名の応募者があり、この中から研究助成金交付者73名を決定し、総額7,300万円を交付しました。両財団設立以来の交付者は、今年度を含め4,393名となり、交付総額は33億5,980万円に達しています。

なお、財団の交付対象者は下記URLにてご覧いただけます。

財団法人 病態代謝研究会 <http://www.astellas.com/jp/byoutai/index.html>

以上